

Lesson

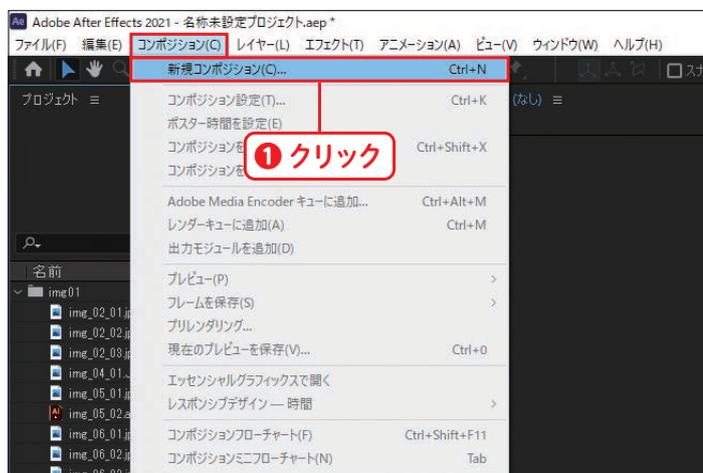
06

練習ファイル なし

完成ファイル なし

コンポジションを作成しよう

ここでは、動画編集・加工を行う際に必須のコンポジションの作成方法を学びます。

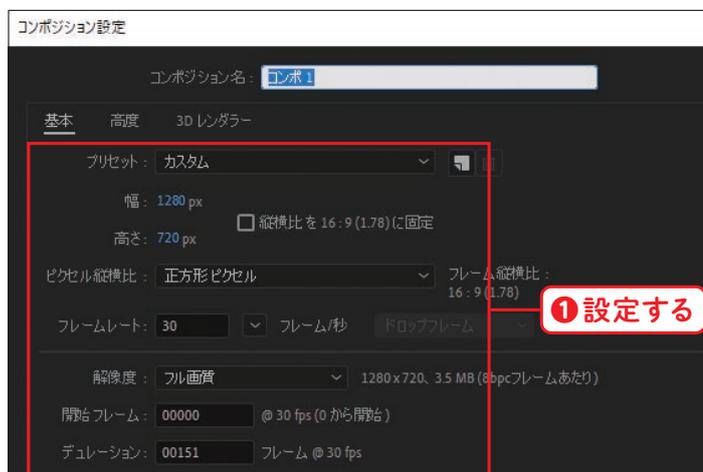


1 [新規コンポジション]を選択する

[コンポジション]メニュー→[新規コンポジション]の順にクリックします①。

MEMO

コンポジションについては、P.36で詳しく解説しています。



2 [コンポジション設定]画面で設定する

[コンポジション設定]画面が表示されるので、以下のように設定します①。

幅	1280
高さ	720
フレームレート	30
解像度	フル画質
開始フレーム	00000
デュレーション	00151

Lesson

01

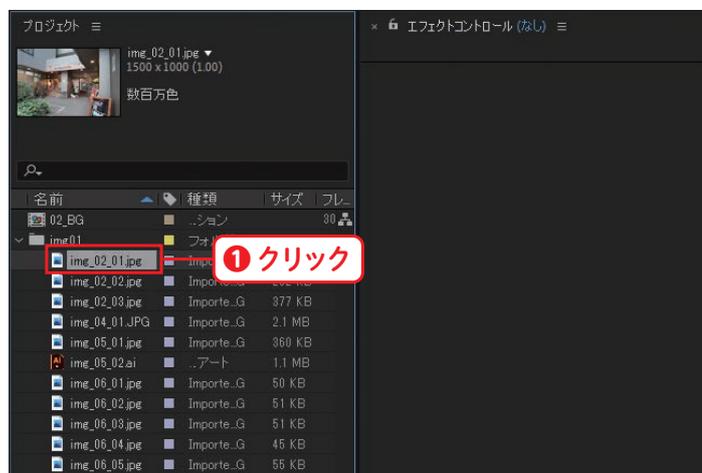
練習ファイル 0201a.aep

完成ファイル 0201b.aep

タイムラインに 配置しよう

読み込んだ素材はタイムラインに配置することで、[コンポジション]パネルに内容が表示され、編集可能になります。

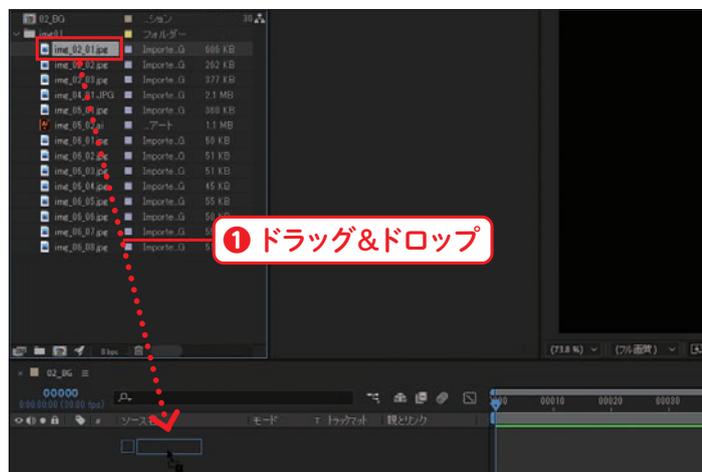
● 「img_02_01.jpg」レイヤーを配置する



1

[プロジェクト]パネルで
選択する

[プロジェクト]パネルで「img_02_01.jpg」をクリックして①、選択します。



2

[タイムライン]パネルに
ドロップする

選択した「img_02_01.jpg」を「タイムライン」パネルにドラッグ&ドロップします①。

Lesson

02

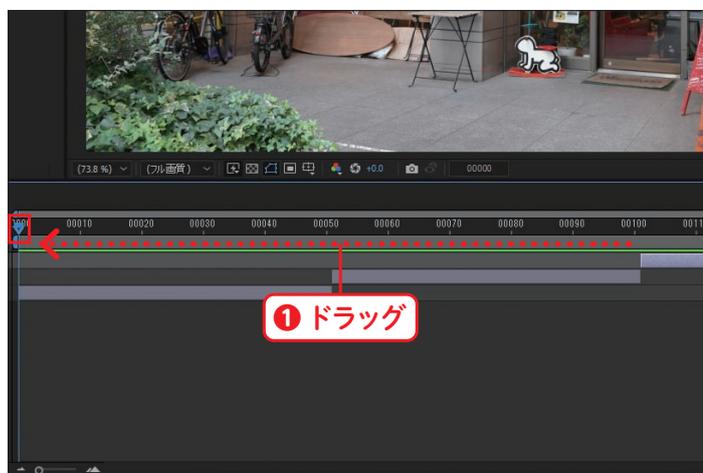
画像をアニメーションさせよう

基本的なアニメーションを作るためにキーフレームの仕組みを理解し、アニメーションを作成します。

練習ファイル 0202a.aep

完成ファイル 0202b.aep

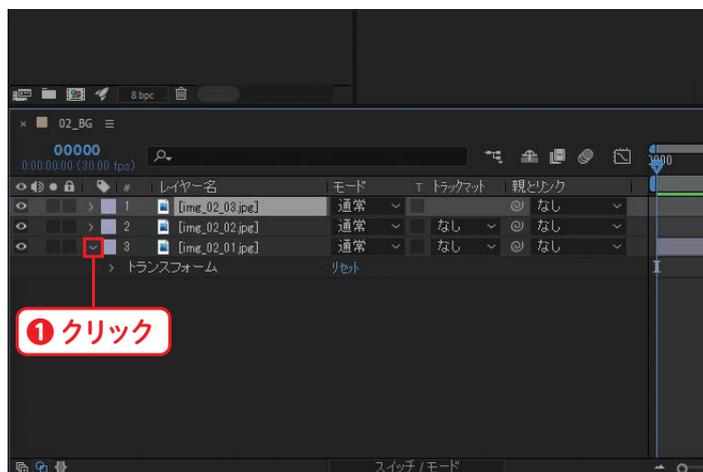
● スケールのアニメーションを作成する



1

[現在の時間インジケータ]を移動する

[現在のインジケータ]を「00000」フレームまでドラッグして①、移動します。



2

[トランスフォーム]プロパティを表示する

「img_02_01.jpg」レイヤー左横の▶をクリックして①、[トランスフォーム]プロパティを表示します。

Lesson

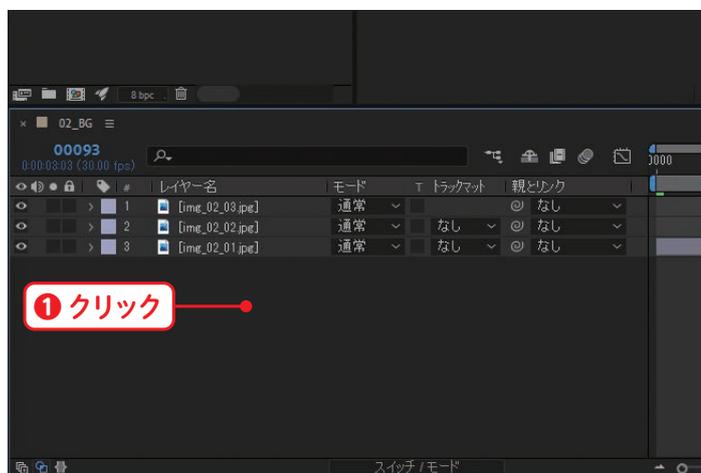
04

練習ファイル 0204a.aep

完成ファイル 0204b.aep

質感を追加しよう

背景画像にエフェクトを重ねて、画面全体に質感を加えます。映像制作で実際によく使われるテクニックを覚えて、動画の見栄えをよくしましょう。



1

[タイムライン] パネルを選択する

質感を加えるエフェクトを適用するために、平面レイヤーを新規作成します。[タイムライン] パネルの何も表示されていないところをクリックします①。

MEMO

[プロジェクト] パネルが選択されていると、平面レイヤーが新規作成できません。



2

新規平面を作成する

[レイヤー] メニュー → [新規] → [平面] の順にクリックします①。

キーフレームアニメーションについて

After Effectsで一番オーソドックスなアニメーションの作成には、「キーフレーム」を利用します。キーフレームとは、アニメーションの指示情報を記録するポイント（点）のようなものです。各種プロパティに2つ以上の異なる値のキーフレームを設定することで、値が自動変更・補完されアニメーションすることができます。

▶ キーフレームの基本

キーフレームの設定は、各種プロパティで行います。例えば[位置]プロパティのキーフレームに座標を指示します。図1では、0フレームに[200.0, 360.0]のキーフレームを追加しています（コンポジションサイズ1280×720、デュレーション00031の場合）。

図2では、30フレームに[1100, 360.0]のキーフレームを追加しています。その結果、動画の開始では図1の位置にあり、終了では図2の位置に図形が移動するアニメーションが作成されます。

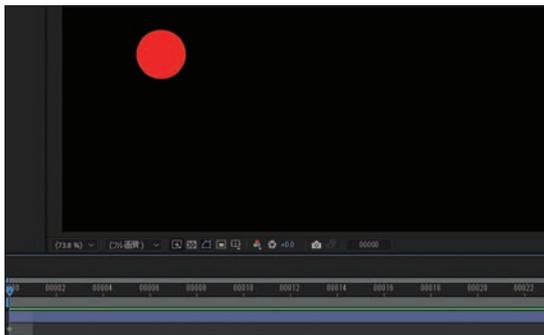


図 1

▶ [現在の時間インジケーター]の利用

キーフレームを追加するためには[現在の時間インジケーター]を利用します。[現在の時間インジケーター]がある地点のタイムライン情報が、[コンポジション]パネルに画として表示されます。キーフレームを追加してアニメーションを作成したい場合は、[現在の時間インジケーター]を指定したい地点に移動させ、各種プロパティの数値を設定します。

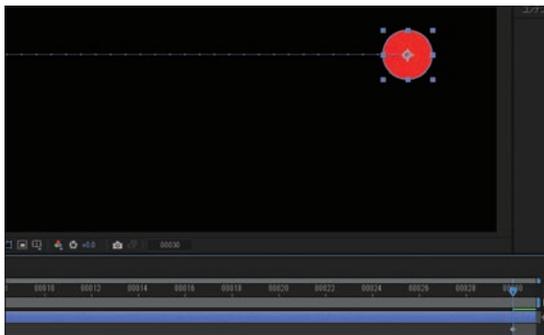


図 2

▶ キーフレームを追加する

[現在の時間インジケーター]を利用して、キーフレームを追加してみます。ここでは0フレームのときに[200.0, 360.0]、30フレームのときに[1100.0, 360.0]のキーフレームがあるシェイプアニメーションがあります。[現在の時間インジケーター]を15フレームに移動し、[位置]プロパティの数値を[640.0, 180.0]と入力すると、0フレームのときに[200.0, 360.0]、15フレームのときに[640.0, 180.0]、30フレームのときに[1100.0, 360.0]のアニメーションが作成されます。

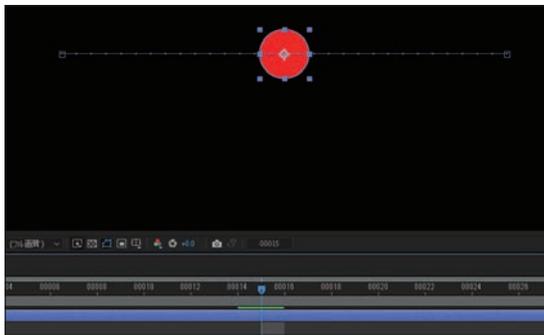


図 3

タイトルを作ろう

完成イメージ



Lesson

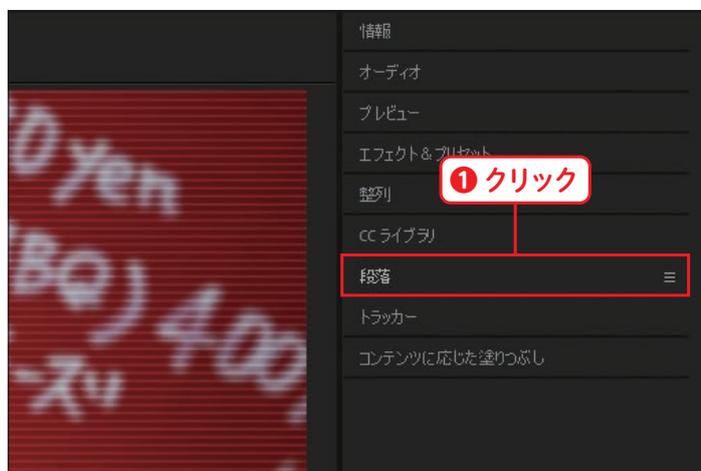
01

テキストを配置しよう

モーショングラフィックスの中でも、一般的なタイトルアニメーションを作成するための準備をします。

練習ファイル 0301a.aep

完成ファイル 0301b.aep



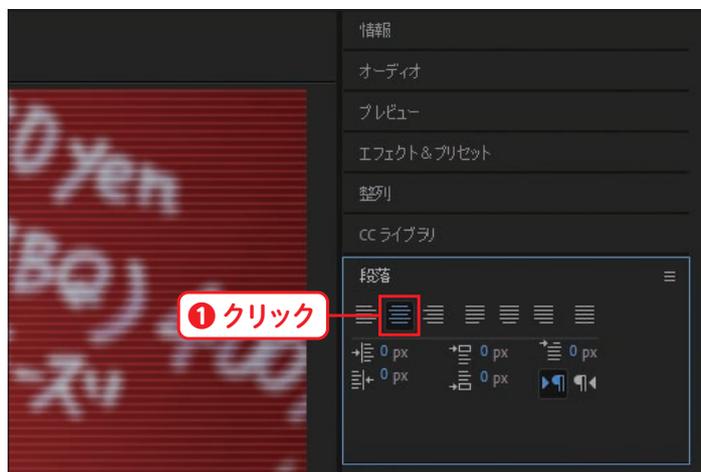
1

[段落] パネルを表示する

[段落] パネルをクリックし①、[段落] パネルを表示します。

MEMO

表示されていない場合は、[ウィンドウ]メニュー→[段落]の順にクリックします。



2

テキストを
中央揃えにする

[テキストの中央揃え] ■ をクリックします①。

MEMO

[段落] パネルの [テキストの左揃え]、[テキストの右揃え] などは、文章が改行されたときにどこを起点に揃えるか決める機能ですが、この章で使用するテキストアニメーターの結果にも影響します。ここでは中央揃えとします。

テロップを作ろう

完成イメージ



Lesson

04

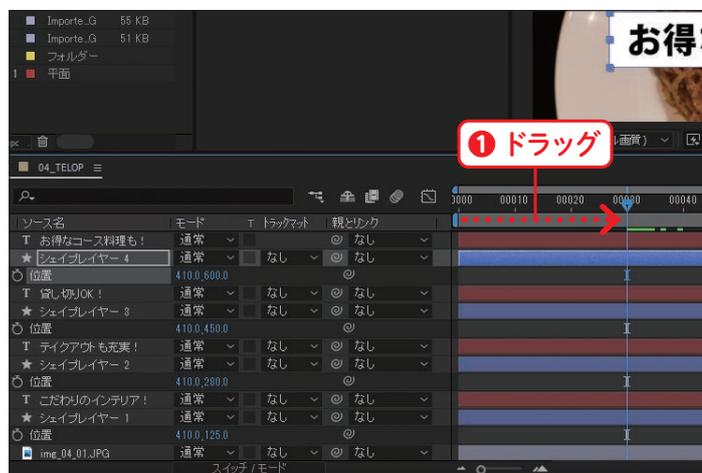
練習ファイル 0404a.aep

完成ファイル 0404b.aep

テロップを
アニメーションさせよう

作成したテロップにアニメーションを付けます。ここでは、[位置]プロパティを使用して、画面左からテロップが入ってくるような動きを作成しましょう。After Effectsの[親とリンク]機能も紹介します。

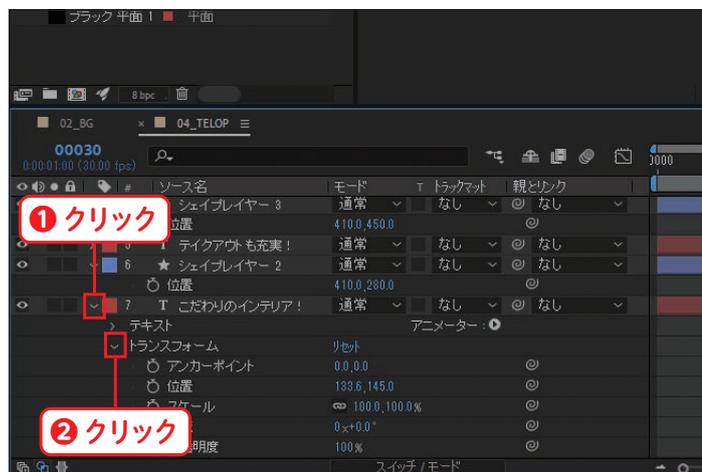
●「こだわりのインテリア！」レイヤーに、アニメーションを付ける



1

[現在の時間インジケータ]を「30」フレームに移動する

テロップが画面左側から定位置に移動してくるようなアニメーションを作成します。定位置にキーフレームを追加するために[現在の時間インジケータ]を移動します。[現在の時間インジケータ]を「30」フレームまでドラッグします①。



2

「こだわりのインテリア！」レイヤーの[位置]プロパティを表示する

「こだわりのインテリア！」レイヤー左横の▶をクリックし①、[トランスフォーム]左横の▶をクリックします②。

Lesson

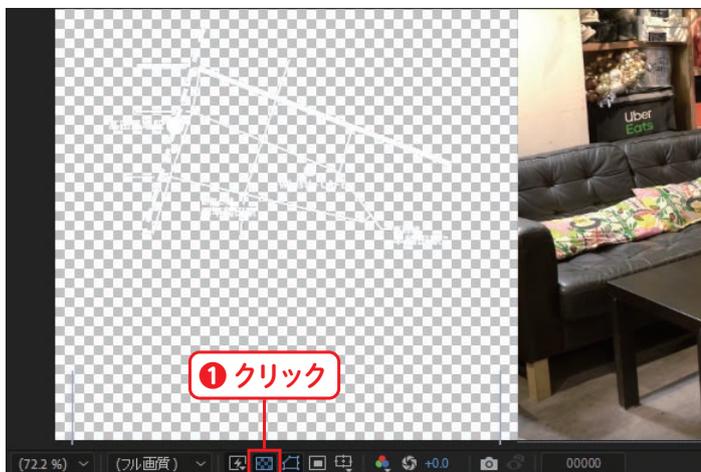
02

練習ファイル 0502a.aep

完成ファイル 0502b.aep

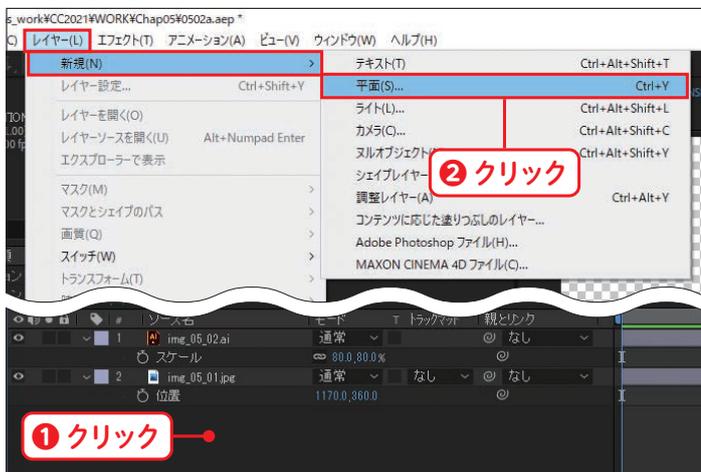
平面レイヤーを 配置しよう

After Effectsでよく使用する平面レイヤーを作成します。透明グリッドを表示し、背景が透明でないかを確認する方法も学びます。



1 [透明グリッド]で 確認する

[透明グリッド]をクリックし①、[コンポジション]パネルを確認すると、地図の背景が白グレーのグリッドで表示され、透明であることがわかります。



2 平面レイヤーを作成する

透明な背景は、黒い平面レイヤーを追加して黒く表示するようにします。[タイムライン]パネルの何もないところをクリックし①、[レイヤー]メニュー→[新規]→[平面]の順にクリックします②。